

兵庫県下の経済動向

平成25年7月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、下げ止まっている。輸出は持ち直しつつあるほか、生産は下げ止まりの動きが広がりつつある。公共投資は増加している。また、雇用・所得環境は改善に向かう動きがみられつつあるほか、個人消費は持ち直しに向けた動きが広がっている。一方、設備投資は弱めとなっている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が3か月連続で前年を下回った。

乗用車販売は、普通乗用車、軽乗用車および小型乗用車が減少し全体では3か月連続で前年を下回った。家電販売は、スマートフォン等が引き続き好調であるものの、薄型テレビが大幅な減少を続けていることから、全体としても低調に推移している。

設備投資は、製造業および非製造業ともに減少を見込んでおり、25年度も減少計画となっている。

住宅投資は、持家や貸家が増加したことから、全体では4か月ぶりに前年を上回った。

公共工事請負金額は、国、独立行政法人等、神戸市、兵庫県は増加、その他団体は減少したが、全体では2か月連続で前年を上回った。基調としては増加している。

貿易は、輸出は中国を含むアジアおよび米国向けが増加、EU向けが減少したが、3か月連続で前年を上回った。また、輸入については5か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、2か月連続で前年を下回った。

雇用関係では、有効求人倍率は前月から上昇し、新規求人数は前年を上回った。

また、一人当たり名目賃金は、前年を上回ったものの、所定外労働時間および常用労働者数は前年を下回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数は前年を下回ったものの負債金額は前年を上回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

4月の兵庫DIは、先行指数85.7%、一致指数66.7%、遅行指数56.3%となった。

4月の兵庫CIは、先行指数92.0、一致指数92.3、遅行指数99.1となった。

兵庫DIは、先行指数が3か月ぶりに50%を上回り、一致指数が2か月連続で50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数は3か月連続で前月差増、一致指数は5か月ぶりに前月差減、遅行指数は3か月連続で前月差減となった。

県統計課は基調判断を「一致指数は下げ止まりを示している。」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

5月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は88.3、前月比0.9%減少。出荷指数は86.9、同0.9%増加。在庫指数は126.3、同0.3%増加。在庫率は132.4、同25.5%低下。生産指数は2か月連続して低下、出荷指数は4か月連続で上昇、在庫指数は3か月連続で上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産が7.1%減で15か月連続、出荷は7.3%減と16か月連続で低下した。また在庫は6.3%減と5か月連続で低下した。

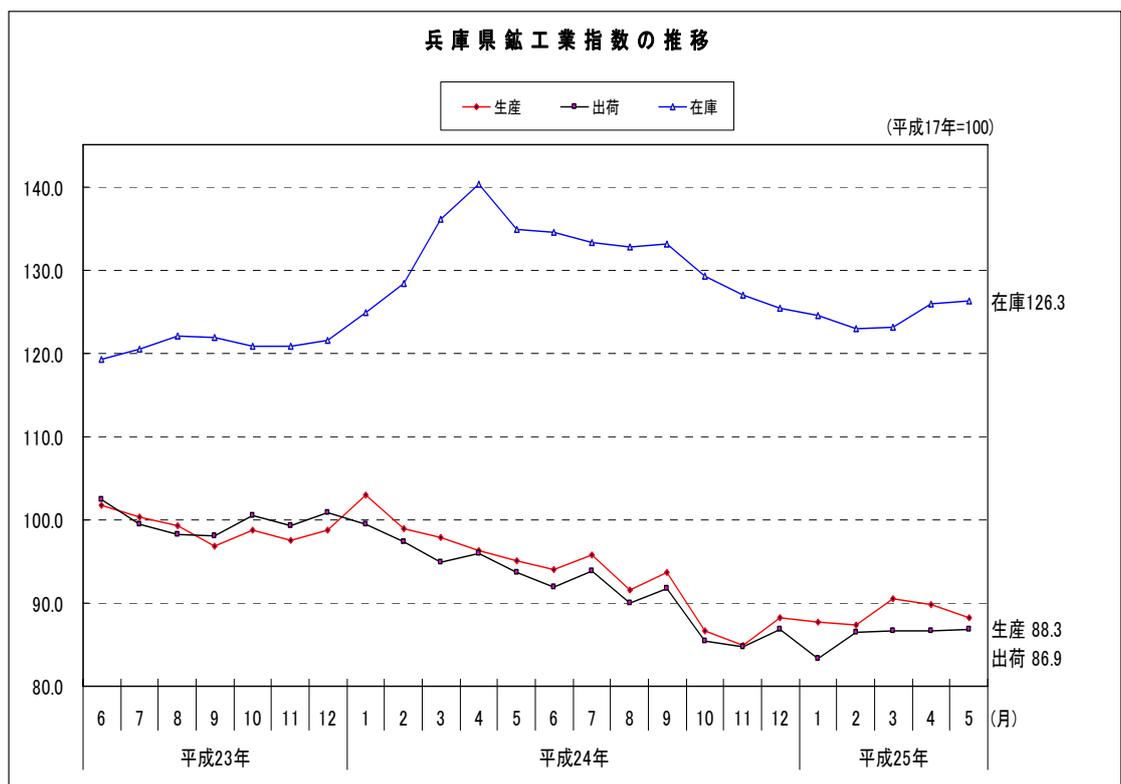
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、ショベル系掘削機械等の「一般機械工業」が10.5%、ビール等の「食料品工業」が2.9%、リチウムイオン蓄電池等の「電気機械工業」が2.1%、亜鉛めっき鋼板等の「鉄鋼業」が0.6%各々上昇し、アクティブ型液晶素子等の「電子部品・デバイス工業」が10.7%、駆動伝導・操縦装置部品等の「輸送機械工業」が5.0%、溶剤系合成樹脂塗料等の「化学工業」が1.9%、ガス温風暖房機等の「金属製品工業」が1.7%、パーソナルコンピュータ等の「情報通信機械工業」が0.3%各々低下した。

県統計課は、基調判断を「下げ止っており、一部に持ち直しの動きが見られる」とした。

5月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整済指数	対前月比増減 (%)	原 指 数	
				対前年同月比増減 (%)
生 産	88.3	▲ 0.9	83.8	▲ 7.1
出 荷	86.9	0.9	82.3	▲ 7.3
在 庫	126.3	0.3	124.8	▲ 6.3
在 庫 率	132.4	▲ 25.5	143.1	2.6

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



5月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	101.1	0.6	上昇	亜鉛めっき鋼板、普通鋼鋼板、銑鉄、普通鋼鋼帯
			低下	H形鋼、特殊鋼熱間圧延鋼材、ブリキ、特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)
金属製品	82.9	▲ 1.7	上昇	ガス温風暖房機、ガス湯沸器、鋼管製管継手
			低下	粉末や金製機械材料、橋りょう、うす板ばね
一般機械	79.0	10.5	上昇	ショベル系掘削機械、蒸気タービン部品、水管ボイラ、マシニング
			低下	ボイラ部品、熱交換器、エスカレータ、食料品加工機械
電気機械	136.4	2.1	上昇	非標準油入り変圧器(10000kV以上)、リチウムイオン蓄電池、プログラマブルコントローラ
			低下	電力変換装置、一般用タービン発電機、内燃機関電装品保護継電器
情報通信 機械	73.5	▲ 0.3	上昇	パーソナルコンピュータ、無線位置測定装置、搬送装置、カーオーディオ
			低下	レーダ装置、携帯電話、カーナビゲーション、陸上移動通信装置(携帯電話以外)
電子部品 デバイス	71.8	▲ 10.7	上昇	アリティプ型液晶素子(7.7インチ以上)、PDPモジュール、スイッチング電源
			低下	線型半導体集積回路、電界効果型トランジスタ、IGBT、シリコントランジスタ(1W未満)
輸送機械	68.6	▲ 5.0	上昇	駆動伝導・操縦装置部品、特殊自動車、鋼船、二輪自動車(125ml未満)
			低下	旅客車、機械部品、特装ボデー、二輪自動車(125ml超)
化 学	79.5	▲ 1.9	上昇	溶剤系合成樹脂塗料、メタクリル酸エステル(モノマー)、酸化亜鉛、複合肥料(化成肥料)
			低下	無水酢酸、酢酸(99%換算)、自動車排気ガス浄化用触媒、純ベンゼン
食 料 品	99.9	2.9	上昇	ビール類、清酒、しょうゆ、肉製品
			低下	パン類、めん類、砂糖、配合肥料

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた6月の県内百貨店売上高は、前年同月比1.1%増の165億53百万円で、3か月ぶりに増加した。昨年7月1日スタートだったセール日程を6月末に早めたことが寄与した。

神戸地区は0.9%増。大丸、ぞごう、阪急（宝塚）の各店とも、セール時期の前倒しで、売り上げに占める割合が大きい衣料品が、全体を上げた。

姫路・加古川地区は1.7%増。山陽百貨店、ヤマトヤシキとも神戸地区と同様にセール時期を前倒ししたことにより、衣料品が全体を引き上げた。

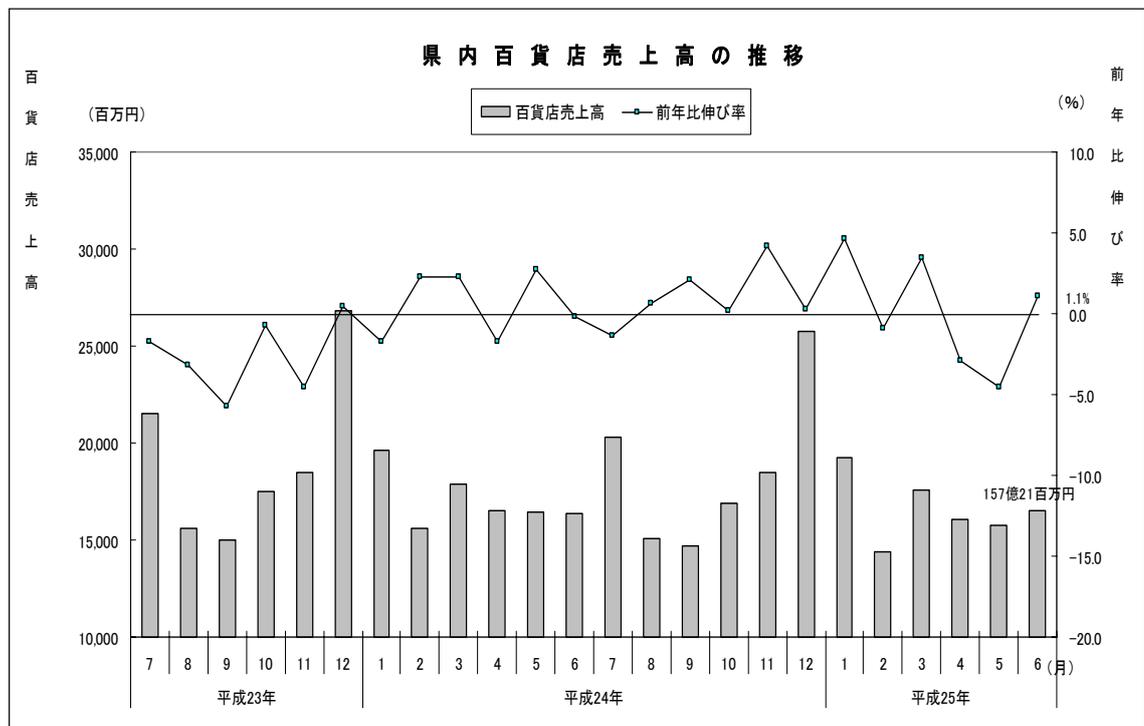
6月の県内百貨店売上高

品目	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	824(2.8)	183(▲ 0.4)	1,008(2.2)
婦人服・洋品	3,988(5.9)	606(1.6)	4,594(5.3)
子供服・洋品	284(12.4)	79(11.6)	364(12.2)
身の回り品	1,521(3.4)	275(▲ 1.7)	1,796(2.6)
家庭用品	543(3.3)	137(▲ 1.6)	680(2.2)
食料品	3,824(▲ 6.2)	908(5.1)	4,733(▲ 4.2)
雑貨	2,026(0.8)	352(▲ 1.2)	2,379(0.5)
その他	706(3.2)	290(▲ 0.8)	996(2.0)
計	13,719(0.9)	2,833(1.7)	16,553(1.1)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

※ 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内6月の乗用車新車登録台数は15,343台、前年同月比9.2%減と2か月連続して前年同月の実績を下回った。

6月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は4,982台(前年同月比13.6%減)、小型乗用車は4,488台(同20.3%減)、軽乗用車は5,873台(同6.9%増)、乗用車合計で15,343台(同9.2%減)となった。

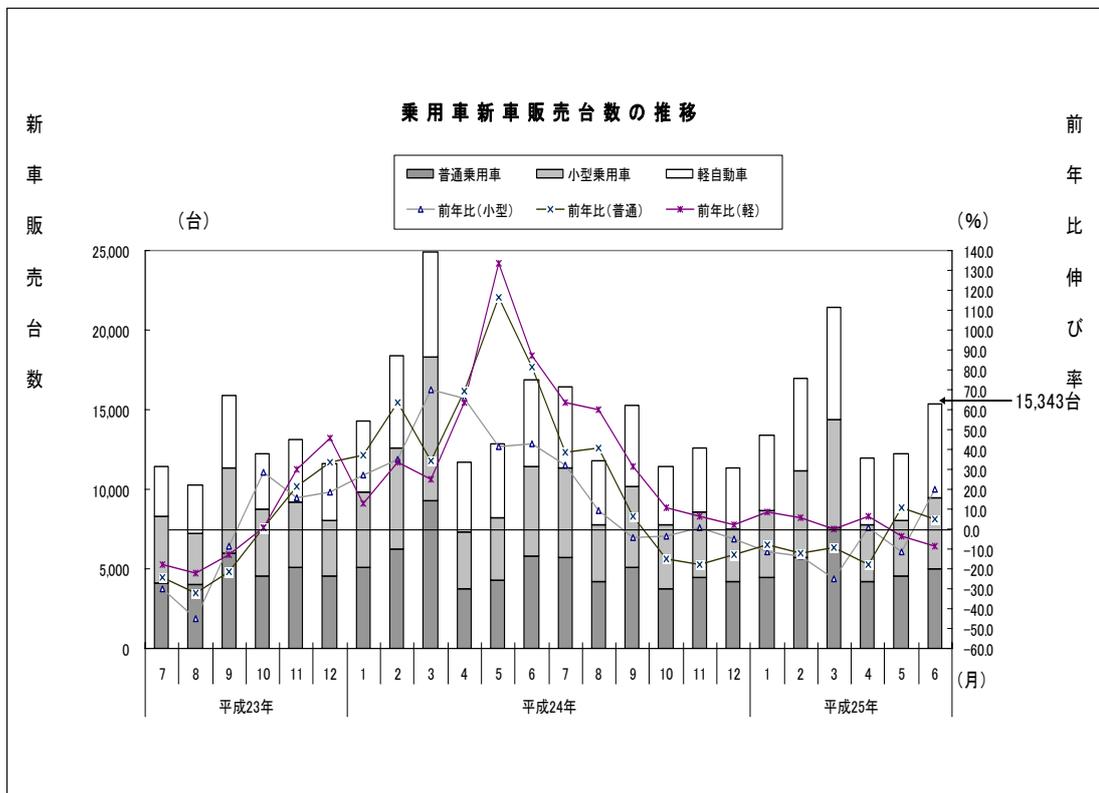
また貨物車等では、普通貨物車は312台(同14.3%増)、小型貨物車は675台(同8.5%増)、軽貨物車は1,499台(同1.4%増)、バスは14台(同48.1%減)となった。

6月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	4,982	▲ 13.6	116,371	▲ 11.5
小型乗用車	4,488	▲ 20.3	116,805	▲ 22.8
軽乗用車	5,873	▲ 16.9	145,530	▲ 2.9
乗用車合計	15,343	▲ 9.2	378,706	▲ 12.5
普通貨物車	312	14.3	11,698	▲ 4.0
小型貨物車	675	8.5	21,265	0.5
軽貨物車	1,499	1.4	38,382	0.1
貨物車合計	2,486	4.8	71,345	▲ 0.5
バス	14	▲ 48.1	774	▲ 23.1
登録車総計	17,843	▲ 7.5	450,825	▲ 10.8

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が7月11日に発表した機械受注統計によると、平成25年5月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、25年4月前月比14.2%減の後、25年5月は同12.0%増の2兆2696億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、4月前月比8.8%減の後、5月は同10.5%増の7,992億円となった。

内訳をみると、製造業が同3.8%増の2,971億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同25.4%増の5,607億円であった。

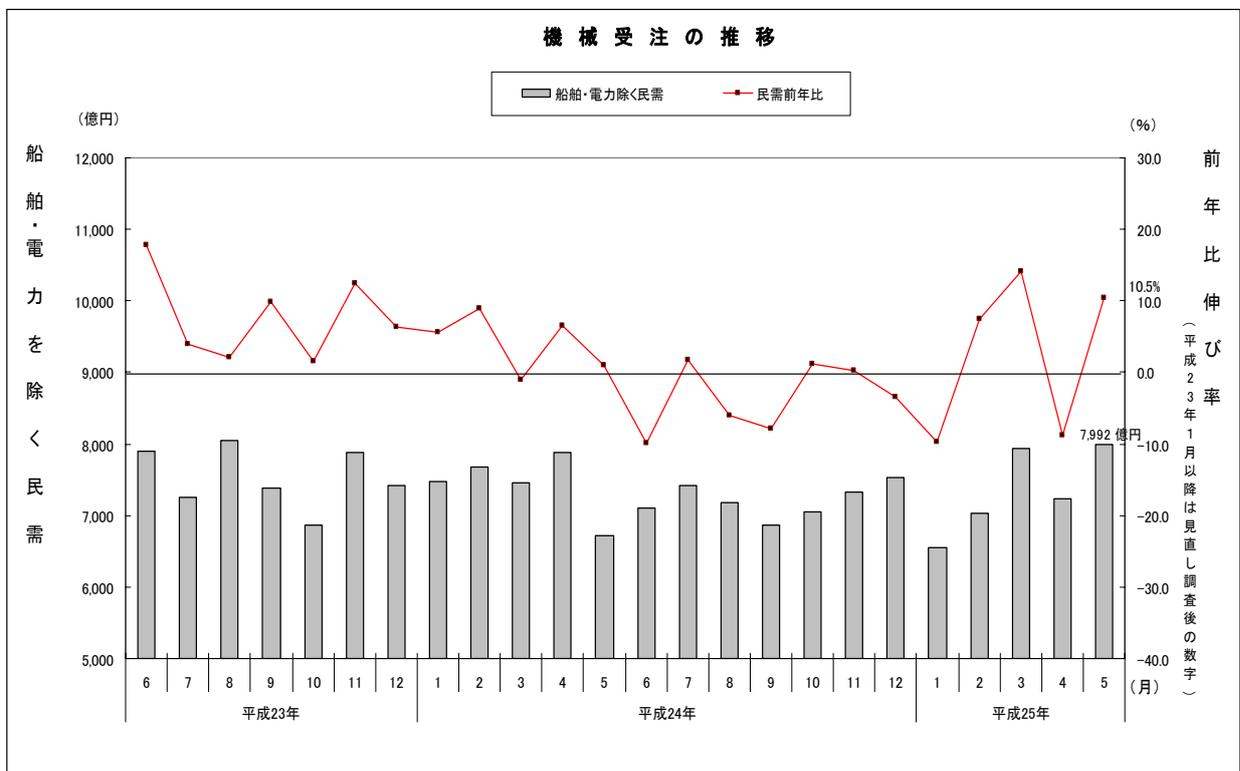
製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、パルプ・紙・紙加工品(129.9%増)、化学工業(48.2%増)、「その他輸送用機械」(39.3%増)、金属製品(23.0%増)、一般機械(16.0%増)、食品製造業(9.1%増)等の10業種で、造船業(46.1%減)、非鉄金属(42.8%減)、電気機械(34.6%減)等の5業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、金融業・保険業(106.3%増)、運輸業・郵便業(70.2%増)、卸売業・小売業(23.2%増)、農林漁業(21.7%増)等の7業種で、鉱業・採石業・砂利採取業(22.8%減)、電力業(12.7%減)、不動産業(6.2%減)等の5業種は減少となった。

兵庫県下においては、2013年度設備投資額は、製造業は減少を見込んでいるものの、非製造業が増加を見込んでおり、全産業では減少計画となっている。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2013年6月 ——兵庫県——

設備投資計画：全産業前年度比+2.1%（製造業+0.4%、非製造業9.2%）



機械受注統計 (平成25年5月分)

	24年 4~6月 実績	7~9月 実績	10~12月 実績	25年 1~3月 実績	4~6月 見通し	25年 2月 実績	3月 実績	4月 実績	5月 実績
受注総額	59,338 (-12.2) [-4.0]	54,382 (-8.4) [-8.3]	56,379 (3.7) [-9.7]	60,410 (7.1) [-5.3]	57,414 (-5.0) [-8.9]	18,479 (0.9) [-14.8]	23,618 (27.8) [11.5]	20,267 (-14.2) [-4.3]	22,696 (12.0) [18.1]
民需	26,097 (-2.6) [-5.8]	25,526 (-2.2) [-7.1]	25,341 (-0.7) [-5.6]	25,477 (0.5) [-2.0]	23,962 (-5.9) [-14.6]	7,851 (-2.2) [-14.0]	9,598 (22.3) [8.3]	8,411 (-12.4) [-10.5]	9,455 (12.4) [15.5]
〃 (Ex 船・電)	22,007 (-2.6) [-1.7]	21,715 (-1.3) [-4.6]	21,546 (-0.8) [-0.8]	21,539 (-0.0) [-4.6]	21,214 (-1.5) [-7.7]	6,945 (4.2) [-11.3]	7,931 (14.2) [2.4]	7,233 (-8.8) [-1.1]	7,992 (10.5) [16.5]
製造業	9,313 (-3.4) [-7.6]	9,031 (-3.0) [-9.5]	8,550 (-5.3) [-11.1]	8,407 (-0.7) [-12.1]	8,478 (0.8) [-13.0]	2,724 (4.9) [-18.2]	3,087 (13.3) [-3.9]	2,862 (-7.3) [-9.8]	2,971 (3.8) [-6.2]
非製造業 (Ex 船・電)	12,808 (-0.7) [3.1]	12,772 (-0.3) [-1.3]	13,491 (5.6) [7.4]	13,702 (-3.1) [2.8]	13,005 (-0.5) [-3.0]	4,164 (0.3) [-5.5]	4,759 (14.3) [9.8]	4,472 (-6.0) [4.8]	5,607 (25.4) [34.3]
官公需	7,689 (1.0) [26.7]	7,202 (-6.3) [18.1]	6,942 (-3.6) [-1.5]	6,949 (0.1) [-6.9]	8,791 (26.5) [7.5]	2,300 (15.2) [1.5]	2,651 (15.2) [-5.9]	2,485 (-6.3) [-8.0]	3,599 (44.8) [51.1]
外需	22,009 (-15.6) [-9.4]	20,593 (-10.5) [-18.0]	21,246 (3.2) [-16.5]	23,670 (11.4) [-8.8]	22,138 (-6.5) [-7.5]	6,740 (1.0) [-21.0]	10,254 (52.1) [27.5]	8,217 (-19.9) [6.7]	9,066 (10.3) [17.1]
代理店	2,759 (-4.0) [7.8]	2,720 (-1.4) [11.7]	2,648 (-2.6) [-1.8]	3,000 (13.3) [4.2]	2,851 (-5.0) [1.8]	894 (-0.3) [-4.1]	1,209 (35.2) [11.3]	748 (-38.2) [-16.6]	918 (22.7) [-1.6]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内5月の新設住宅着工戸数は、総数で2,632戸(前年同月比7.7%増)となり、持家、分譲、貸家が増加し、給与は減少したが全体では3か月ぶりに前年を上回った。また、前月比では189戸の増加となった。

5月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	949	12.3	28,902	13.5
・分譲住宅	1,022	3.0	23,911	21.7
貸家系・貸家	648	15.1	26,614	11.6
・給与住宅	13	▲ 92.8	324	▲ 51.9
総数	2,632	2.0	79,751	14.5

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

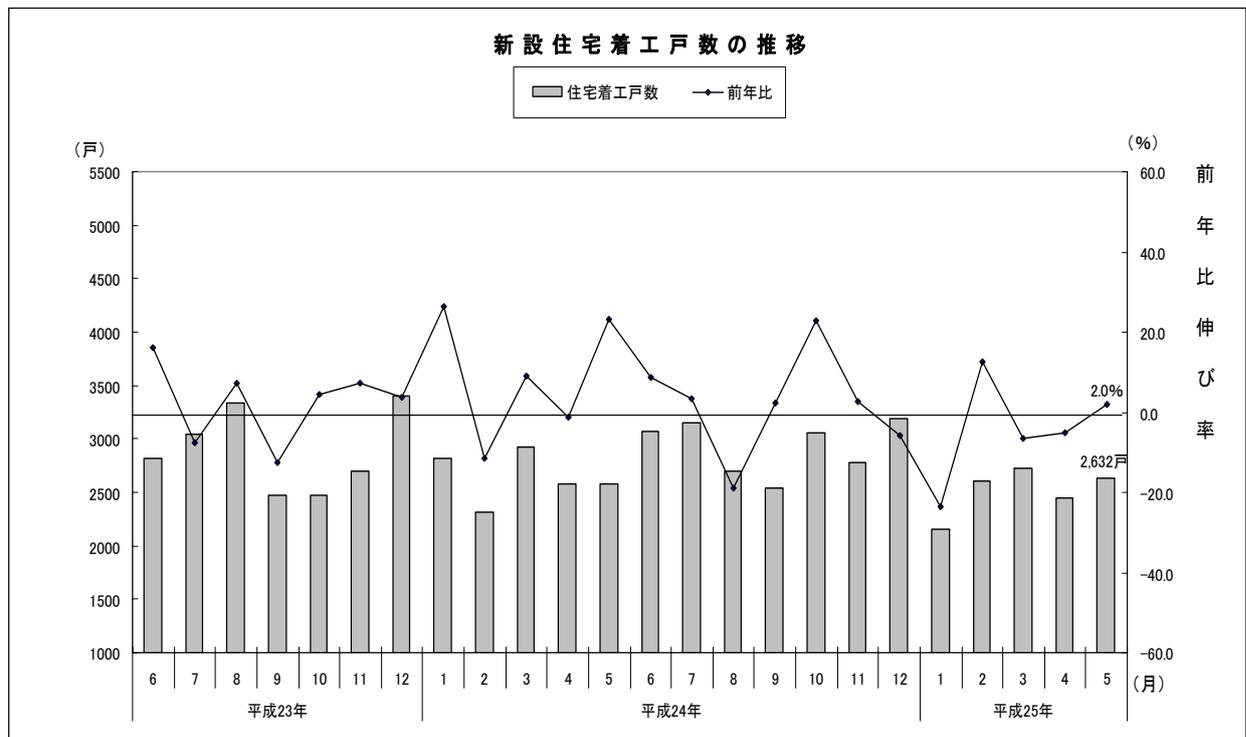
5月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	849	562	256	298	118	351	88	49	37	24	2,632
前月比	286	100	-28	-58	36	19	-53	-107	20	-26	189

資料：兵庫県住宅計画課

平成25年5月の新設住宅着工累計は、総数で2,632戸、前年同月比51戸の増加となった。利用関係別では「持家」が949戸(前年同期比12.3%増)、「分譲住宅」が1,022戸(同3.0%増)、「貸家」が648戸(同15.1%増)、「給与住宅」が13戸(同92.8%減)となった。



【公共工事】

6月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は415件で前年同月比11.9%の増加、請負金額は342億18百万円で同28.6%の増加となり、金額ベースでは2か月連続前年同月を上回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「神戸市」が前年同月比273.0%、「独立行政法人等」同110.4%、「国」同97.0%、「その他の団体」が同75.1%、「兵庫県」同4.7%、「神戸市を除く市町」同1.6%が増加となり、前年同月を上回った。

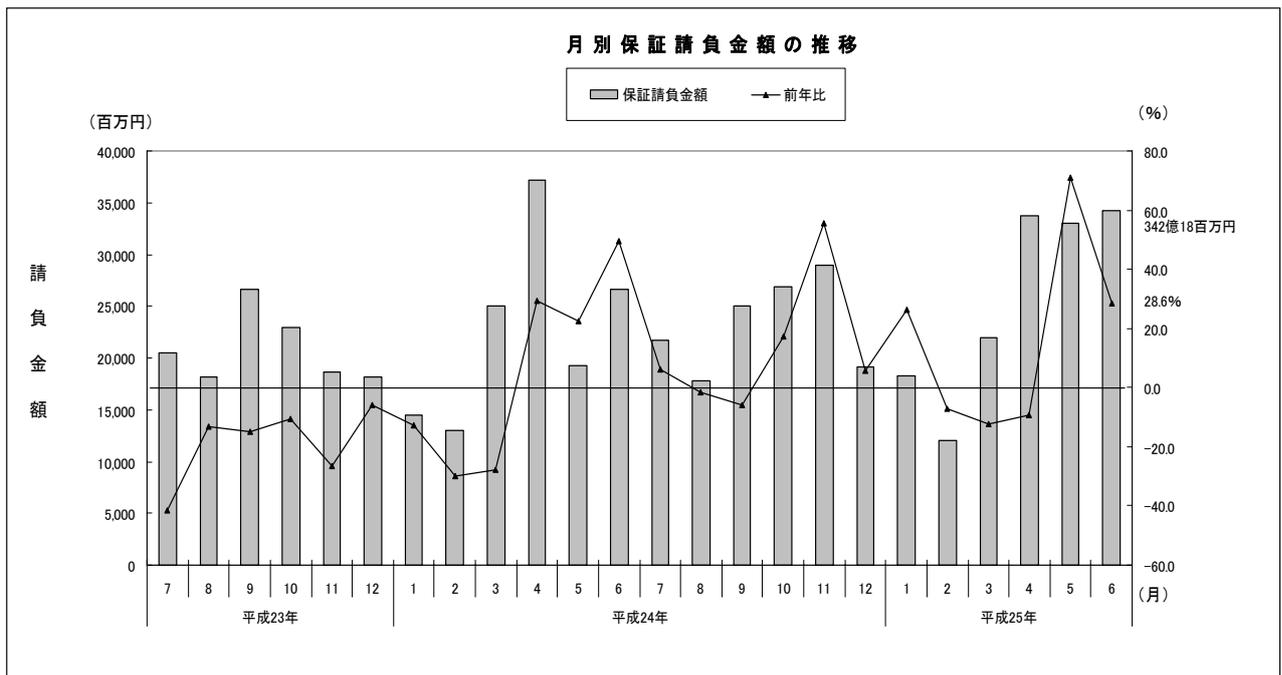
地域別(金額ベース)では、阪神北(同118.3%)、中播磨(同62.2%)、丹波(同51.4%)、但馬(同50.8%)、神戸市(同42.4%)、淡路(同25.3%)、阪神南(同15.6%)、東播磨(同14.5%)、で前年同月を上回り、西播磨(同▲36.6%)、北播磨(同▲15.5%)で前年同月を下回った。

6月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	32(100.0)	3,880(97.0)	
独立行政法人等	14(0.0)	4,413(110.4)	新名神高速道路有野川橋工事 新名神高速道路船坂川橋工事 新名神高速道路切畑トンネル工事
兵庫県	127(8.5)	7,428(4.7)	県営伊丹西野第6住宅第4期建築工事
神戸市	36(63.6)	3,137(273.0)	神戸空港地盤改良その他整備工事 中突堤ポンプ場放流渠築造工事
神戸市を除く市町	188(3.3)	14,133(1.6)	大塩処理場水処理第3系列他建設工事 加教教工第1号泉中学校校舎耐震補強工事 朝来私立和田山中学校校舎改築・地震補強工事
その他の団体	18(▲10.0)	1,224(75.1)	尼崎市丸島雨水幹線等建設工事
合計	415(11.9)	34,218(28.6)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成25年5月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,819億円、前年同月比8.3%の増加で、総額ベースで3か月連続増額となった。輸出は、船舶などが減少したものの、建設用・鉱山用機械などが増加した。一方、輸入は、たばこなどが減少したものの、半導体等電子部品などが増加した。

輸出は4,193億円(前年同月比6.6%増)と3か月連続で増加した。

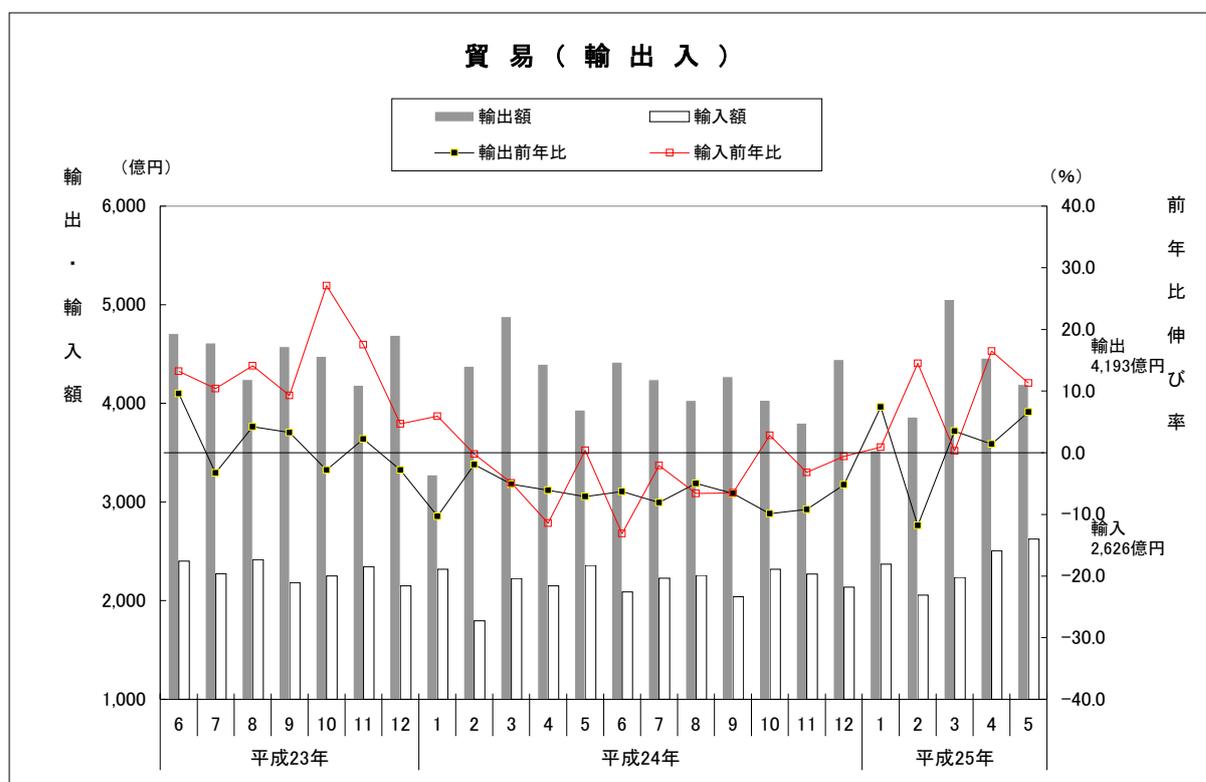
主要品目では、建設用・鉱山用機械(前年同月比35.7%増、3か月連続プラス)、プラスチック(同16.0%増、5か月連続プラス)が増加し、船舶(同97.5%減)、鉄道用車両(同69.3%減)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比25.4%増、11か月連続プラス)、中国(同9.4%増、2か月ぶりにプラス)、アジア(中国含む)(同5.7%増、4か月ぶりにプラス)が増加し、EU(同9.7%減、4か月連続マイナス)が減少した。

輸入は2,626億円(前年同月比11.3%増)と5か月連続で増加した。

主要品目では、有機化合物(前年同月比33.4%増、2か月連続プラス)、衣類および同付属品(同11.0%増、2か月連続プラス)が増加し、たばこ(同21.8%減、3か月ぶりにマイナス)、非鉄金属(同15.0%減、2か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比19.1%増、6か月連続プラス)、米国(同11.4%増、2か月連続プラス)、アジア(中国含む)(8.6%増、2か月連続プラス)、中国(同6.3%増、2か月連続プラス)が増加した。



【物 価】『消費者物価』

6月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が100.0(平成22年=100)となり、前月比は0.1%上昇、前年同月比は0.2%上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は100.2となり、前月比は0.1%上昇、前年同月比は0.4%上昇となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.3となり、前月比は0.1%下落、前年同月比は変わらずとなった。

前月からの動きを見ると、教養娯楽用耐久財などの値下がりにより「教養娯楽」が0.7%、交通などの値下がりにより「交通・通信」が0.2%、家庭用耐久財などの値下がりにより「家具・家事用品」が0.6%、身の回り用品などの下落により「諸雑費」が0.2%それぞれ下落した。しかしながら、肉類などの値上がりにより「食料」が0.4%、電気代などの値上がりにより「光熱・水道」が1.3%、シャツ・セーター・下着類などの値上がりにより「被服及び履物」が0.6%それぞれ上昇した結果、総合では0.1%の上昇となった。

6月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	100.0	97.4	101.8	114.0	96.0	101.6	97.6	99.8	101.0	94.0	103.0	100.2	99.3
前月比	0.1	0.4	0.0	1.3	-0.6	0.6	-0.2	-0.2	0.0	-0.7	-0.2	0.1	-0.1
前年同月比	0.2	-1.8	0.1	8.3	-1.4	0.0	-0.7	1.5	0.8	-1.5	0.4	0.4	0.0

(注)平成22年=100

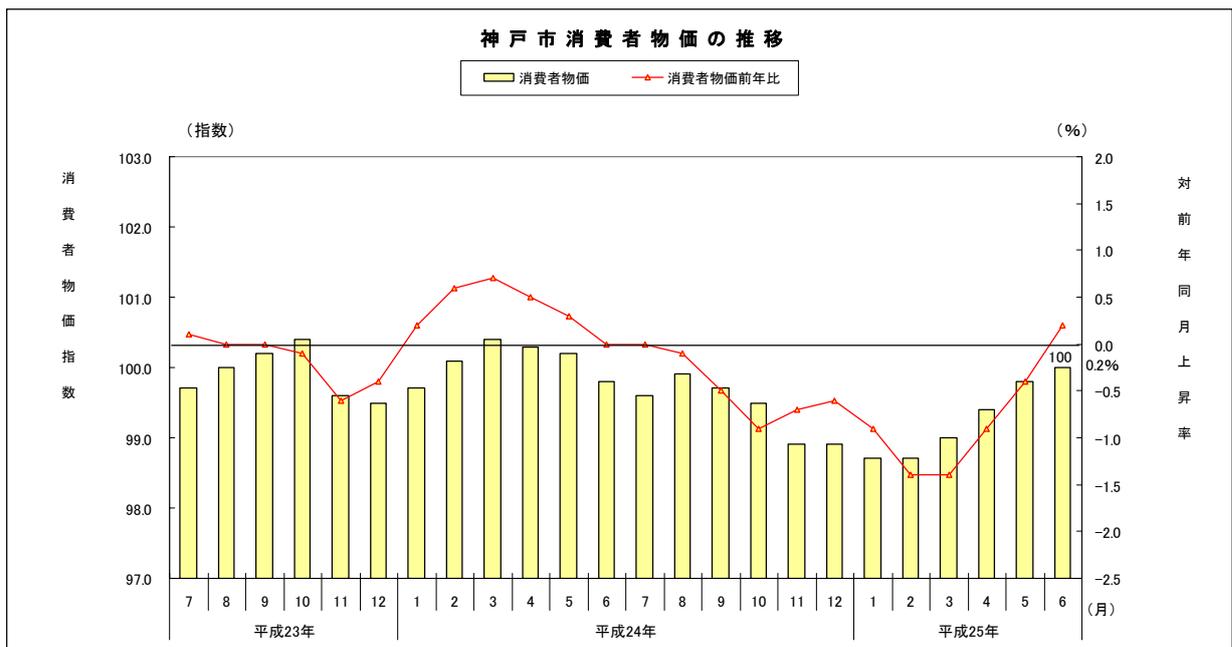
資料：兵庫県統計課

○対前月比値上がりした主な品目

肉類 (+ 3.5%) ・ ・ ・ 豚肉(もも)、牛肉(国産ロース)、ソーセージ
電気代 (+ 1.5%) ・ ・ ・ 電気代

○対前年同月比値下がりした主な品目

教養娯楽用耐久財 (▲ 2.6%) ・ ・ ・ テレビ、パソコン(ノート型)、電子辞書
交通 (▲ 0.6%) ・ ・ ・ JR料金(新幹線、在来線)、航空運賃



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が7月10日に発表した、企業物価指数(速報)による2013年6月の企業物価指数は次のとおり。

6月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	101.6	0.1	1.2
輸 出 物 価	106.1	-2.7	11.7
輸 入 物 価	121.4	-3.2	13.8

資料：日本銀行調査統計局

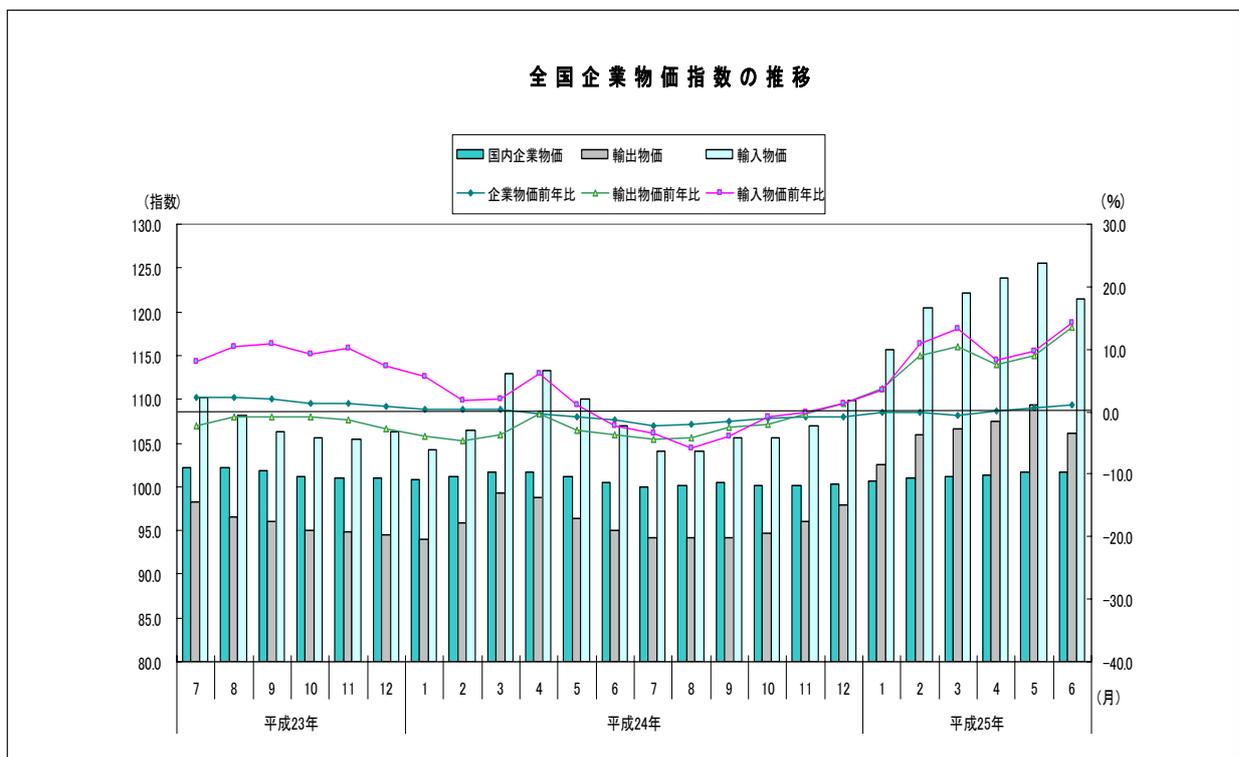
国内企業物価は、非鉄金属(前期比-2.6%<銅地金など>)、農林水産物(同-0.7%<豚肉、鶏卵、精米など>)等が下落したが、電力・都市ガス・水道(同+1.8%<業務用高圧電力など>)、業務用機器(同+0.9%<娯楽機器など>)、石油・石炭製品(同+0.7%<ガソリン、軽油など>)等が上昇し、全体では前月比0.1%の上昇となった。

前年同月比1.2%上昇と1年7か月ぶりの高い伸び率となり、3か月連続で上昇となった。

円安で燃料や原材料などの輸入物価が上昇するにつれ、企業同士の取引価格に値上がり分を転嫁する動きが徐々に広がり始めた。

輸出物価は、金属・同製品(前月比-4.7%<金地金など>)、化学製品(同-3.0%<合成ゴムなど>)、輸送用機器(同-2.9%<普通乗用車など>)等が下落し、円ベースでは前月比-2.7%の下落(前年同月比+11.7%)となった。

輸入物価は、金属・同製品(前月比-4.5%<銅鉱、銀地金など>)、食料品・飼料(同-3.9%<調整うなぎ、大豆など>)、石油・石炭・天然ガス(同-3.6%<原油など>)等が下落し、円ベースでは前月比-3.2%の下落(前年同月比+13.8%)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内5月の新規求人数(全数)は、25,457人(前年同月比1.2%増、前月比4.8%減)で、2か月連続して前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は70,363人(前年同月比5.7%増、前月比3.1%減)で37か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比1.9%減で2か月ぶりに前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同4.5%増で18か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同8.6%増で3か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、製造業(前年同月比1.6%増)、情報通信業(同22.0%増)、運輸業、郵便業(同8.3%増)、学術研究、専門・技術サービス業(同32.0%増)、宿泊業、飲食サービス業(同17.5%増)、医療・福祉(同2.2%増)は前年を上回ったが、建設業(前年同月比3.1%減)、卸売業、小売業(同5.2%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同8.1%減)、サービス業(同6.4%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

5月の新規求職申込件数(全数)は、24,485件(前年同月比5.3%減、前月比22.3%減)で、2か月ぶりに前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は107,257人(前年同月比3.6%減、前月比0.2%増)で36か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比5.7%減で2か月ぶりに前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同4.7%減で2か月ぶりに前年を上回った。また、臨時・季節については、前年同月比19.0%増で9か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比3.5%増で9か月連続して前年を上回ったが、事業主都合離職者は同7.8%減で4ヶ月連続、自己都合離職者は同4.0%減で2か月ぶり、自営・他は同17.1%減で24か月連続、無業者は同18.3%減で17か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、26,518人(前年同月比8.2%減)で、4か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

5月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.20倍で前月を下回り、有効求人倍率については0.75倍で前月から上昇となった。

(4) 失業者の状況

5月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.1%、完全失業者数(原数値)は279万人(前年同月比18万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.4%(前年同月比0.6ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は45万人(前年同月比7万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
25年5月	25,547	1,908	2,816	311	1,438	3,865	163	450	846	1,980	1,057	6,515	3,225
前年同月比	1.2	▲3.1	1.6	22.0	8.3	▲5.2	▲12.4	20.6	32.0	17.5	▲8.1	2.2	▲6.4

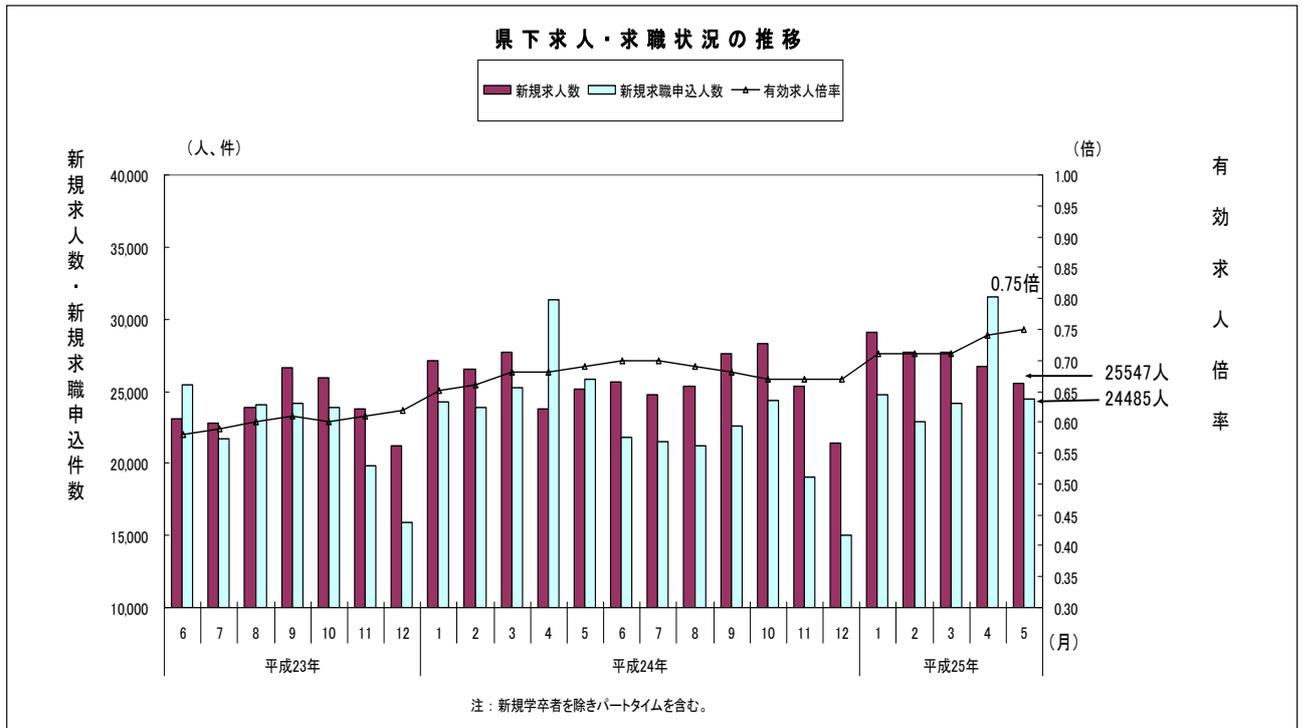
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇 用 ・ 賃 金 の 推 移

項 目 ・ 年 月	12/4-6	12/7-9	12/10-12	13/1-3	13/3	13/4	13/5
有 効 求 人 倍 率 (季調済、倍)	0.68	0.69	0.68	0.71	0.71	0.74	0.75
新 規 求 人 数 (原数値、前年比%)	14.5	6.1	5.9	3.8	▲ 0.3	12.7	1.2
所 定 外 労 働 時 間 (規模5人以上、前年比%)	▲ 5.0	▲ 3.6	▲ 6.0	▲ 4.0	▲ 3.8	▲ 3.9	▲ 3.1
常 用 労 働 者 数 (規模5人以上、前年比%)	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 0.6	▲ 1.1	▲ 1.1	▲ 0.7	▲ 0.1
一 人 当 り 名 目 賃 金 (規模5人以上、前年比%)	▲ 2.9	2.5	0.0	0.1	▲ 0.5	0.4	▲ 0.1

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



【信用保証】

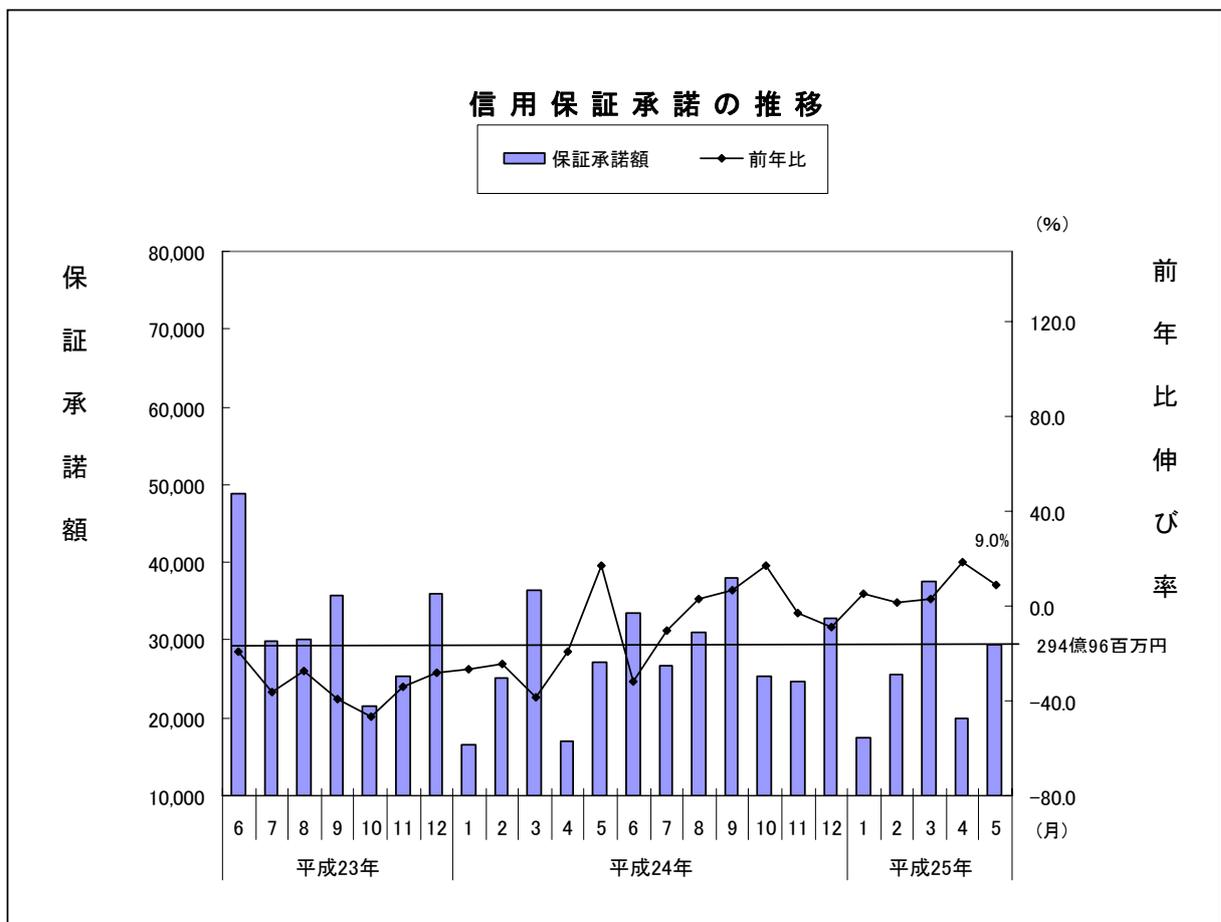
兵庫県信用保証協会による5月の保証承諾実績は、件数で1,783件(前年同月比5.2%減)、金額は294億96百万円(同9.0%増)となり、金額は前年実績を上回った。

資金使途別では、運転資金27,436百万円(前年同月比12.1%増)、設備資金627百万円(同18.1%増)となり、運転資金、設備資金ともに前年同月を上回った。

業種別(金額ベース)では、「不動産業」1,122百万円(前年同月比27.5%増)、「サービス業」3,402百万円(同27.4%増)、「運送・倉庫業」1,562百万円(同15.9%増)、「小売業」3,470百万円(同15.6%増)、「卸売業」5,693百万円(同8.6%増)、「建設業」7,457百万円(1.6%増)、「製造業」5,855百万円(同1.1%増)で前年同月を上回り、飲食店660百万円(同9.3%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、162件(前年同月比27.0%減)、15億69百万円(同46.3%減)となった。

5月末の保証債務残高は、105,943件(前年同月比6.2%減)、1兆2,123億円(同8.5%減)となった。



【金融】

5月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	145,565	2.9	54,770	▲ 2.0
地方銀行	24,833	2.8	20,995	5.3
第二地方銀行	31,890	2.6	20,049	2.0
信用金庫	79,685	0.9	37,216	▲ 1.6
その他	17,368	2.2	17,256	1.2
計	299,341	2.3	150,286	0.0

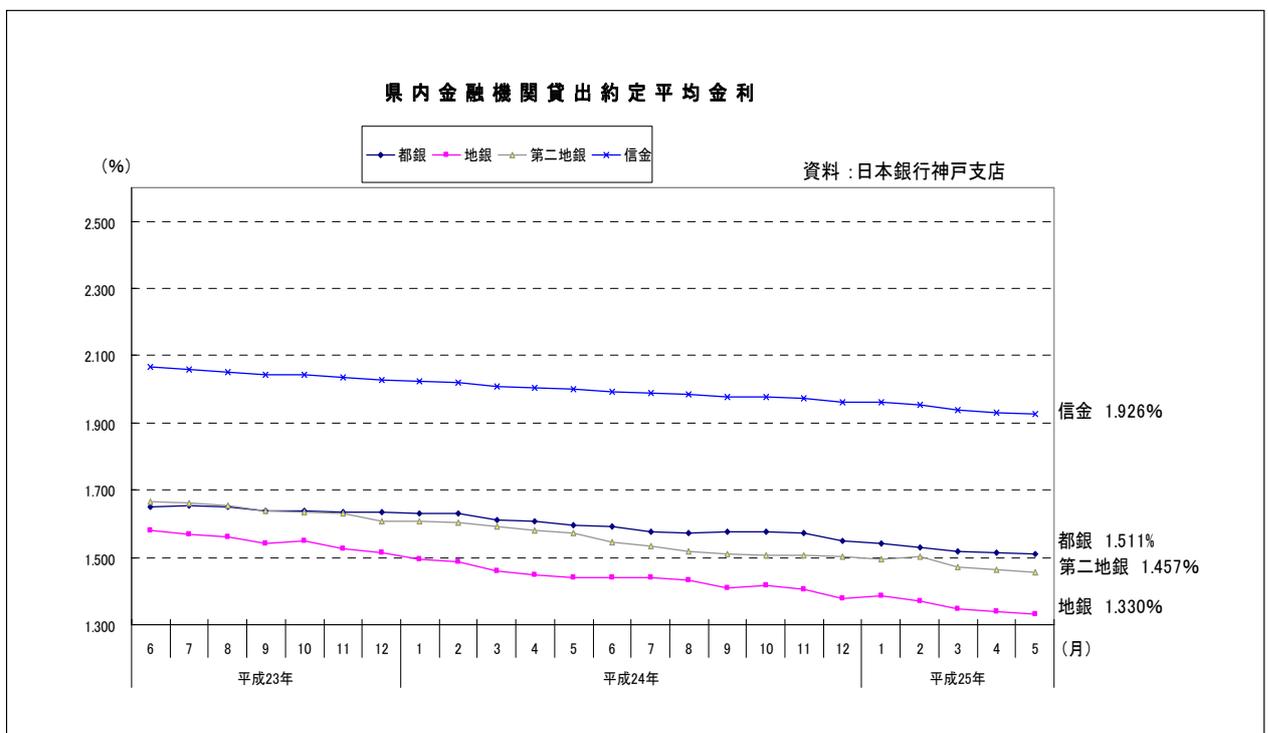
・都銀等＝都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他＝信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

5月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比+2.3%)

5月の貸出は、前年並みの水準で推移している。(前年比+0.0%)

5月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(5月末水準 1.620%、前月比▲0.004%ポイント)。



【倒 産】

県内6月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は34件で前年同月比35.8%の減少、負債総額は341億73百万円で同252.0%の増加となった。

倒産件数は、14年4か月ぶり(平成11年2月の37件以来)に40件を下回った。負債総額10億円以上の大型倒産が3件(うち1件は200億円以上)あり、6月単月では過去10年間では2番目に大きな金額となった。

原因別(件数)では、「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が28件(全体の82.4%)を占めた。

業種別(件数)では、「製造業」が7件と前年前月比2件の増加でトップであった。

「資本金別」では、「1千万円未満(個人企業含)」の件数が22件で、当月も小規模事業者の倒産が特徴的であった。

「産業別」では、「サービス業他」が8件でトップ、「製造業」が7件と続いて多い。

県下の企業倒産は、6月度の件数が本年最少となり、本年1月から6月までの累計では272件。これは、昨年と比較して30件の減少となっており、企業倒産は依然鎮静状態が続いている。中小・零細企業などの倒産抑制に大きな効果を発揮した「中小企業金融円滑化法」は、3月をもって終了したが、同法終了後も今のところ企業倒産が増加に転じる気配はない。その背景には金融機関への監督官庁からの指導や、事業再生を柱とする中小企業支援策等の効果もあるとみられる。

企業倒産は、今しばらくは鎮静状態の中で一進一退を繰り返すものと見込まれるが、経営改善を先送りした企業を取り巻く環境には好材料を見出し難く、引き続き企業倒産動向には注視が必要とみられる

6月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	4	4	0	0	4	建設業	6	15	-9	14	-8
過小資本	0	2	-2	5	-5	製造業	7	7	0	2	5
連鎖倒産	0	2	-2	3	-3	卸売業	5	10	-5	8	-3
赤字累積	5	5	0	10	-5	小売業	5	5	0	8	-3
販売不振	23	34	-11	34	-11	情報通信業	3	0	3	1	2
売掛金回収難	0	1	-1	0	0	サービス業	8	8	0	11	-3
その他	2	0	2	1	1	不動産・運輸業他	0	3	-3	9	-9
合計	34	48	-14	53	-19	合計	34	48	-14	53	-19

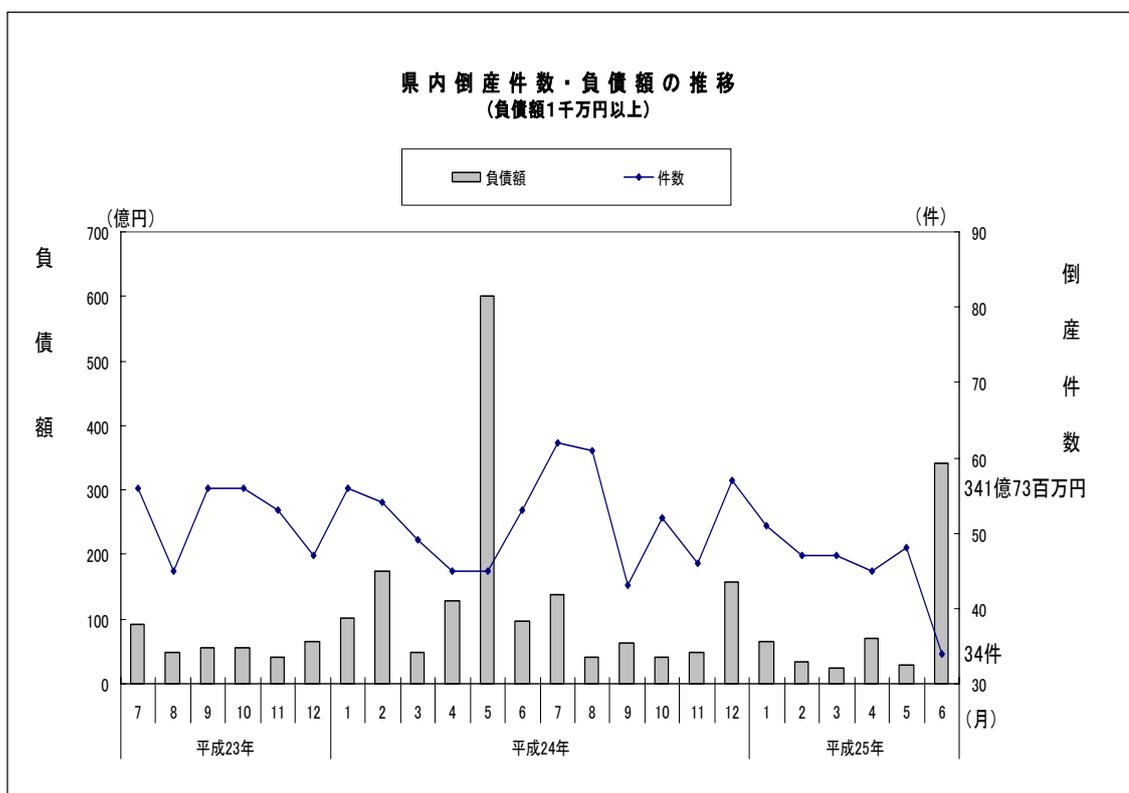
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1.0	0.9
24年 平均	51.9	16.0	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 1月	51	13	19	8	3	5	2	1
25年 2月	47	9	21	10	6	0	1	0
25年 3月	47	16	15	5	8	0	0	3
25年 4月	45	13	18	5	7	0	0	2
25年 5月	48	19	20	2	3	2	1	1
25年 6月	34	9	9	6	9	1	0	0

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数		
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比
		%	%		(億円)	%	%	(戸)	%	%
24年 1月	102.9	3.0	95.2	1.9	145	-12.9	8.5	2,823	26.5	-1.1
2月	99.0	-1.2	94.4	-1.6	130	-29.9	16.8	2,314	-11.5	7.5
3月	97.9	-2.9	95.3	1.0	251	-27.6	8.0	2,923	8.9	5.0
4月	96.3	1.5	95.4	-0.2	372	29.5	5.4	2,579	-1.1	10.3
5月	95.0	-0.2	92.2	-3.4	193	22.3	36.7	2,581	23.3	9.3
6月	94.0	-1.3	92.6	0.4	266	49.6	14.1	3,066	8.8	-0.2
7月	95.7	1.5	91.7	-1.0	217	6.0	26.6	3,152	3.5	-9.6
8月	91.6	-4.4	90.2	-1.6	178	-1.6	19.2	2,699	-19.0	-5.5
9月	93.6	1.6	86.5	-4.1	251	-6.0	-1.9	2,534	2.4	15.5
10月	86.7	-7.5	87.9	1.6	269	17.4	28.2	3,051	23.0	25.2
11月	84.5	-2.4	86.4	-1.7	290	55.7	6.2	2,780	2.8	10.3
12月	88.3	4.4	88.8	2.4	192	5.6	15.6	3,193	-6.0	10.0
25年 1月	88.6	0.3	89.1	0.3	183	26.5	6.7	2,155	-23.7	5.0
2月	87.3	-1.3	89.6	0.6	120	-7.3	-4.8	2,607	12.7	3.0
3月	r 90.5	3.2	90.4	0.9	219	-12.4	-11.7	2,732	-6.5	7.3
4月	p 89.8	-0.8	91.9	1.7	336	-9.4	128.6	2,443	-5.3	5.8
5月	p 88.3	-0.9	97.7	1.9	329	70.8	24.8	2,632	2.0	14.5
6月					342	28.6	21.7			
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)			
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入	
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%
24年 1月	14,266	40.4	38.4	196	-1.7	-1.2	3,277	-10.3	2,319	5.9
2月	18,388	31.4	31.7	156	2.3	-0.5	4,375	-1.9	1,796	-0.2
3月	24,941	68.1	76.3	179	2.3	14.2	4,879	-5.1	2,225	-4.9
4月	11,728	103.0	99.5	165	-1.7	1.6	4,398	-6.1	2,151	-11.4
5月	12,881	68.6	68.6	165	2.7	-0.9	3,935	-7.1	2,359	0.4
6月	16,893	47.4	46.8	164	-0.2	-1.2	4,418	-6.3	2,088	-13.1
7月	16,384	43.0	42.3	203	-1.4	-3.3	4,239	-8.1	2,227	-2.1
8月	11,762	14.6	15.6	151	0.6	-0.8	4,032	-5.0	2,256	-6.6
9月	15,226	-4.2	-3.7	147	2.1	-0.0	4,271	-6.6	2,041	-6.5
10月	11,441	-6.3	-6.7	169	0.2	-2.2	4,032	-9.9	2,318	2.8
11月	12,576	-3.9	0.2	185	4.2	2.5	3,800	-9.2	2,271	-3.2
12月	11,342	-2.3	-2.0	258	0.3	-1.0	4,444	-5.2	2,137	-0.6
25年 1月	13,378	-6.2	-7.4	192	4.6	0.3	3,522	7.4	2,372	0.9
2月	16,941	-7.9	-8.1	143	-0.9	0.7	3,861	-11.7	2,058	14.6
3月	21,468	-13.9	-11.0	176	3.5	4.0	5,051	3.5	2,235	0.3
4月	11,979	2.1	0.7	160	-2.9	-0.4	r 4,459	1.4	r 2,508	16.5
5月	12,231	-5.0	-8.7	157	-4.5	2.8	p 4,193	6.6	p 2,626	11.3
6月	15,343	-9.2	-12.5	165	1.1					
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
24年 1月	0.65	0.73	1,053	5.2	98.7	-0.2	99.7	0.2	99.6	0.1
2月	0.66	0.75	1,049	5.1	98.9	-0.3	100.1	0.6	99.8	0.3
3月	0.68	0.76	1,043	4.7	100.1	-1.0	100.4	0.7	100.3	0.5
4月	0.68	0.79	1,053	4.4	100.5	-0.3	100.3	0.5	100.4	0.4
5月	0.69	0.81	1,052	4.0	98.8	-0.9	100.2	0.3	100.1	0.2
6月	0.70	0.82	1,051	3.8	100.2	0.1	99.8	0.0	99.6	-0.2
7月	0.70	0.83	1,054	3.8	100.0	-0.1	99.6	0.0	99.3	-0.4
8月	0.69	0.83	1,051	3.9	99.6	0.1	99.9	-0.1	99.4	-0.4
9月	0.68	0.81	1,052	4.4	99.3	-0.5	99.7	-0.5	99.6	-0.3
10月	0.67	0.80	1,047	4.2	99.3	-0.6	99.5	-0.9	99.6	-0.4
11月	0.67	0.80	1,048	4.0	99.8	-1.6	98.9	-0.7	99.2	-0.2
12月	0.67	0.82	1,048	4.0	100.4	0.5	98.9	-0.6	99.3	-0.1
25年 1月	0.71	0.85	1,040	-1.2	99.4	0.7	98.7	-0.9	99.3	-0.3
2月	0.71	0.85	1,035	-0.4	99.8	0.9	98.7	-1.4	99.2	-0.7
3月	0.71	0.86	1,032	-0.2	100.5	0.4	99.1	-1.3	99.4	-0.9
4月	0.74	0.89	1,043	-0.9	101.6	1.1	r 99.3	-1.0	99.7	-0.7
5月							p 99.8	-0.4		
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産(負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
24年 1月	100.9	0.3	150,149	-0.9	1.452	56	102	14	19	23
2月	101.1	0.4	149,482	-1.3	1.442	54	173	17	23	14
3月	101.6	0.3	152,152	-1.3	1.428	49	49	15	23	11
4月	101.4	-0.7	150,310	-0.6	1.424	45	128	14	14	17
5月	101.0	-0.9	150,352	-0.3	1.421	45	601	16	18	11
6月	100.4	-1.5	150,636	0.3	1.409	53	97	18	25	10
7月	99.9	-2.3	150,531	-0.1	1.403	62	138	16	28	18
8月	100.1	-2.0	150,189	0.3	1.401	61	41	22	22	17
9月	100.4	-1.5	151,823	0.8	1.385	43	63	15	14	14
10月	100.0	-1.1	149,833	0.1	1.383	52	41	22	11	19
11月	99.9	-1.1	150,053	0.0	1.378	46	48	12	17	17
12月	100.3	-0.7	151,415	-0.1	1.364	57	157	11	19	27
25年 1月	100.5	-0.4	150,340	0.1	1.358	51	65	13	19	19
2月	101.0	-0.1	150,096	0.4	1.346	47	34	9	21	17
3月	101.1	-0.5	152,787	0.4	1.325	47	25	16	15	16
4月	r 101.5	0.1	150,606	0.2	1.321	45	69	13	18	14
5月	p 101.6	0.6	150,286	0.0	1.319	48	29	19	20	9
6月	p 101.6	1.2				34	341	9	9	16
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値